

ふるさと奥尻通信

平成26年6月30日
奥尻町教育委員会発行
事務局：01397-2-3890

海洋研修センターと稲穂ふれあい研修センターにて無料配布しています。奥尻町役場ホームページからもダウンロードできます。

巻頭語

人生をマラソンに例える場合があります。ランナーが独自のペース配分で走るのと同じように、人にはそれぞれの生き方がある訳ですから、リタイアしないように気を使ってゴールを目指せばいいのです。タイムは関係ありません。

特集 第1回奥尻ムーンライトマラソン

6月14日、「第1回奥尻ムーンライトマラソン」が初開催されました。夕方からスタートして海岸線を走り、しだいに登ってくる月明かりの下、イカ釣り漁船の漁り火を見ながらゴールを目指すというものです。参加定員500名を越えるエントリーがあり、道南地方では初めてのフルマラソンであったこともあり、注目度の高さを示しました。

元々は、沖縄県伊平屋村で20回を迎える大会をのれん分けしてもらったもので、昨年度から現地視察を行い、準備を進めてきた経緯がありました。過去には、平成10・11年に「奥尻復興ハーフマラソン」というイベントを経験していましたが、今回はコース規模の違いや、前夜祭と後夜祭という2つのフードイベントが加わったことにより、「おもてなし」の心がより一層必要とされた大会となりました。

大会運営には、地元町内会からの協力が必須条件であったので、短い準備期間であったにもかかわらず、時間を割いて積極的に参加してくれた町民のみなさんの姿には、大会成功へ向けた一体感があり、感動的な場面を演出しました。



後夜祭での余興 ヘーモン閣下



感動させた漁り火

大会当日はあいにくの雨模様でしたが、15時にフル、17時にハーフマラソンがスタートし、フルのランナーは北端稲穂岬を過ぎた辺りで折り返し、ハーフのランナーはまっすぐ南端の青苗岬を目指しました。参加ランナーはフル227名(男子:166、女子:61)、ハーフ254名(男子:143、女子111)の481名で、うち460名が完走しました。完走率は95.6%でした。内訳は約88%が道内からの参加でしたが、遠くは沖縄や中国上海からの参加者もありました。

大会の特徴として、直射日光を浴びる時間が短いため走りやすく、公認コースではないものの、好タイムが出やすい傾向にあります。また、前夜祭と後夜祭では島の名産を料理した食べ物が提供され、食べる楽しみがあるのも醍醐味の一つです。加えて、海岸線を走るコースのため、直ぐ近くでイカ釣り船の漁り火を眺めることができ、沿道からの温かい声援を受けながらゴールを目指すというリラックスした大会となりました。

参加者の感想には、「漁師が船上から応援してくれて、涙が出た」、「沿道の声援が力になった」というような声が聞かれ、次回もぜひ参加したいという好評な意見が多く聞かれました。

ただ、初開催であったために、大会運営にはあれこれと改善点が出て、参加者の皆さんには不便をおかけしました。来年は、それらを改め、充実した大会としたいものです。来年の開催日は平成27年6月26日、27日の金土曜日に開催する予定(変更の可能性もあり)となっていますので、ぜひともご参加ください。よろしくお願いたします。



奥尻港をスタート!



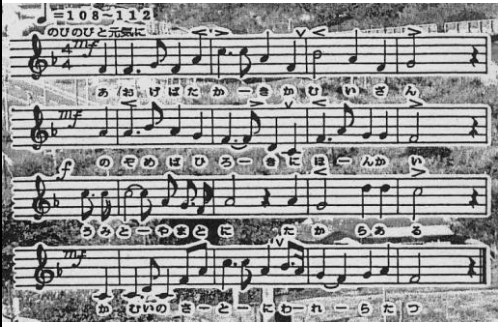
フルマラソン1位の京谷和央さん



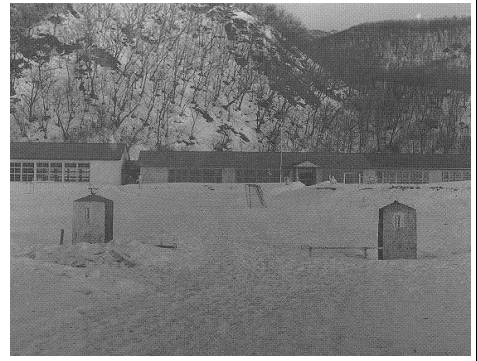
稲穂第2エイドステーションで補給中



お見送り また来年お会いしましょう!



進我学沸 大広たよ 神海望仰
むらびく 大きくとし 威とめげ
彼健のや 大くもへや の山ばば
方児庭い 学と海文化 にに 広高
にのをのち んん の 荒 恵
光意 うの 人知く 我宝日神
あり気ち湯 のの 恵み
高たて のの 泉とみ
くたし のの 道泉も
し 漁に



冬の学舎 昭和後期

敦賀鶴蔵作詩、千葉日出城作曲の校歌は3番構成からなります。作詞者の敦賀は第3代校長で、昭和29年～32年まで在籍しました。作曲者の千葉は、北海道学芸大学札幌校(現:教育大札幌校)の音楽教官を務めた人で、道内各地の校歌を作曲しています。2番冒頭の「よしや文化の～」には、人々が終戦直後に国後島から集団移住したものの、道路も通らぬ未開拓地という厳しい環境に置かれたことを如実に物語るものです。3番は湯の浜の名の通り、温泉が湧いている地域の状況を良く現しています。同校は平成2年3月に休校となり、同7年に廃校となりました。



先生、来賓、PTA 第1回運動会 昭和26年

月刊 奥尻のつり 6月号

6月は前半ならカレイ、後半はソイがメインとなります。アブラコは通じて釣れていますが、ホッケはもう期待できません。また、ヒラメも港内に入っているの、たまに大型のものがあがっています。6月下旬、赤石海岸で45.5cmのカレイが釣れましたが、100mほどの遠投が必要だったようです。この日は赤石海岸が当たりだったようで、15枚以上の釣果が聞かれました。カレイ釣りも最終盤で大漁となったわけですね(なのに、この日私はボウズでした!)。島の東海岸、東風泊地区から赤石地区までは大きな湾(過去には釣懸湾との呼称も)となっていて、沖合はゴロタ場や砂場となっています。そのため、少々の岩場と港を除けばソイ、ハチガラなどの根魚釣りには向かず、ホッケ、アブラコ、カレイ、カジカ釣りなどに適しているのです。

昭和奥尻生活詩 18回

奥尻郡釣石尋常高等小学校一年生「詩集・海に生きる」より

び先ちまば太腕皆ほら冬	ラ
か生らぶつ陽を元がチだ	ヂ
びのつしとの延氣らオ暖	オ
かバとい顔光ばよか体	体
光ン台にしくに操	操
つドの方 當つて	よ
たのかね	を
	揚
	げ
	た
	た
	ら
	ら
	子

國頭ひろ子

じ面大き○しをり内ど九て
ら影自く年た、のる名いか
れを然変余。感朽旧旅がたつ
ま見はわり一慨ち道を来早て
しせ変りた族深たか楽島瀬奥
たてわまちがげ柱らしし家尻
。いりし、島にや鉾み、の鉾
たなた街を眺レ山まる子山
よくが並離めん跡し孫を
う、みれてガへたツの経
に昔島はていな登。を方営
感のの大丸まど 幌た々し

早瀬家ご一行来島



ドクガの幼虫

水すのしら尽業才生起にりでし
で。なよにくのイじこ触、すて道
洗付いう入し裏タましれ幼。新内
い着ド。らま側ドす、る虫こ聞各
流シん特なすにり。ひとへこの地
したゲにい。張～主どか毛ガ事
て場に食よ不りやにいぶ虫、にド
下合はべう用付ハド痛れ～名もク
さは要らに意きマンがての前のガ
い、注れしに、ナゲゆ炎毛の通ほ
。直意てま草食スへさ症は通ほ
ぐで葉むべの才をを肌ど生

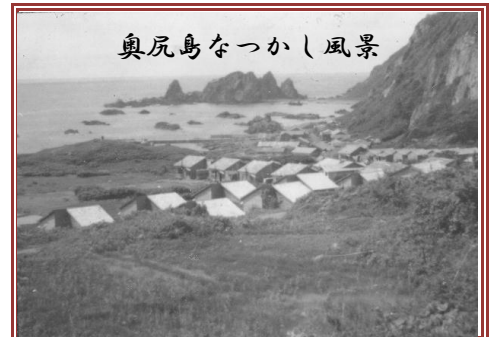
ドクガ発生に注意!

マラソンもあつという間に終
わってしまいましたね。なんだ
か”祭りのあと”の気分です。
休み無く賽の河原祭りの準備、
運営と続きましたので、肉体的
にも疲れしました。だんだん暑く
なってきましたね。夏が来ると
ともに磯の魚も沖に逃げてい
き、寂しいもんです。釣り道具
の片付けをして、焼き台の準備
でもするかなあ。サクラガイを
どうやって手に入れるか…。

新衣之記録 (編集後記)

さしサとはへや文るわ洋ニま
いまラ体、おつ化パレ研ユで七
。すニ験一越て財ネま修し、月
お。プ講般しきのルすセア北三
待こを座講下ま面を。ンル海○
ちち作→座さす白メ展タ予道日
しらろア→いのいイ示し告開
てもうイ奥。で土ン物ホ展拓八
いご→ヌ尻一是偶にをし示記月
ま利をのの○非な、紹ル会念一
す用開袋鹿日会ど重介でが館○
下催・にに場も要す行海リ日

開拓記念館巡回展



神威脇入植者の住宅 昭和20年代